

## 合格体験記

### 【はじめに】

S・F（男性）43歳 会社員、人事や営業を担当、簿記などの資格はなし

受験の理由：社内での業務を通じて成長機会が減ってきたため、何か別のチャレンジを探していました。思いっきり勉強してみようと思い立ち、経営を学べる診断士受験を決意しました。

私は、2次試験4回目での合格でした。

合格までたくさん失敗しましたので、本番に弱い、不器用な方、量をこなしたのに行き詰っている方にとって参考になれば幸いです。

### 【2次試験学習の取組み】

平成30年：大手予備校コース、模擬試験3回（B・B・C・B）

令和元年：MMC通学講座（通期）、模試4回、GWゼミ全て、直前スパーリング2回  
（C・B・B・A）

令和2年：MMC通学講座（前期）、模試4回、直前スパーリング2回（D・B・A・B）

令和3年：MMC4回目模試、TBC2次速習テキスト（合格）得点開示請求待ち

### 【MMCを選んだ理由】

- ① 切り口、文章の金型化やマトリクス、キーワードなど、整理されていて一貫性があり自分でもこれならできるのではと感じた。
- ② 高い合格率、ネットでの評判だけでなく別の予備校の説明会でMMCを受けようか考えているといった受験生の声を直接聞いたこと。

1年目の2次対策は不十分なままどのように回答を導けばいいのか、何を書けばいいのか全く整理がつかずひたすら高い壁を感じていました。

合格のためには苦手な事例Ⅲの克服と、事例Ⅳで合格点をとることだと自己分析し受験校を探していました。そのため、MMCは2次の対策に迷っている自分にぴったりだと感じ、しっかり身につけるべく通学コースに決めました。

### 【MMCの学習方法】

- ① 文章の金型やキーワードの習得をひたすら取り組みました。講義の中で中居先生が「またMMC同じ問題出しているなど感じたらいいい学習ができている」とお話しされていました。何度も繰り返しやることで「またこの論点を問われているな」と感じたころ安定して解答

できるようになりました。模試も「解答スピードが大事」という課題を持ち70分で回答できるように取り組みました。4回目の模擬試験では上位10%以内に入る等実力が身につけてきたことを実感できました。

- ② 事例Ⅲは馴染みがなく苦手でした。何を答えればいいのか全く対応できませんでした。しかし、覚えるキーワードも多いのですが、徳川先生より解説講義の中で説明をしてくださったことで苦手意識も減少しました。何回も繰り返し身につけることで、本番での対応がもっともできる（個人的に）事例になりました。
- ③ 事例Ⅳは、GW オプションの財務問題集を1年で各3回以上繰り返しやりました。4回ある模擬試験の中には本番を想定した問題があり、解答手順を暗記するまで取り組むことで初見の問題も対応できるようになりました。

#### 【本番での対応】

令和元年度は、本試験直前まで徳川先生より「あまりやりすぎるな」と注意されましたが、もっとやれると追い込んで解いては見直しを繰り返していました。

しかし、試験前夜に眠れなくなり、寝ないまま試験を受けに行き焦って解答し結果は不合格。

令和2年度は、更に2次の過去問対策が不十分だったと思いかのぼって10年分解いてみることを行いました。初見の問題に対応するべく型の精度を上げ解答のスピードアップを意識してマーカーを使わないことにもチャレンジしました。4回目の模試が5位以内に入り手ごたえを感じていました。

しかし、試験前夜に眠れなくなり、「まただめだ」と思いながらも気持ちを奮い立たせ寝ないまま試験を受けに行き受験しました。再現答案をはじめ作り採点していただいたところ合格点に達していたのですが、結果は不合格。

焦って書いていたのでポカミスがあったと思いますが、非常にショックで、自分ではどう取り組むべきか整理がつかないままでした。全く手が付けられず8月迄勉強から離れていました。

#### 【合格した年におこなったこと】

8月に最後に受けてみないときっと後悔すると思い対策を見直しました。

過去の試験ではMMCの型で書いてしまうため本番ではその型を使いこなせず、初見の問題に対する応用が全くできていないことが問題でした。特に事例Ⅰは「何が問われているかわからない」「与件が読めない」（自分では）ことが多くとにかく埋めることを行っていました。そのため作問者の「題意」に対して筋の通った回答ができていなかったと反省しました。型に頼りすぎず自分で考えて過去問に取り組むことが大事であると考えました。

合格した年に対策をとったのが5つです。

- ① **1次知識の見直しと強化**：知識不足で与件を読み込めず無理に与件を使い題意から離れた回答をしてしまう。また、知識が必要な問題こそ100%取りに行く必要があること。
- ② **与件を読み方**：おおよそ何のことについて説明しているのか、時勢や登場人物の整理をしながら読むことを見直しました。
- ③ **メモの取り方**：SWOT分析、社長の「経営方針」「標的顧客」知識をもとに余白に記入するようにしました。マーカーで線を引くだけでなくメモを残し見落とさないようにした。
- ④ **過去問を解く**：MMCの模範解答は参考にしながら作問者の意図を整理して、自分ならどう回答するか自分が受けた3年分を繰り返し見直しました。
- ⑤ **前日に寝ること**：直前に詰め込まずに（問題は解かない）、そして気負わずに、当日万全の状態で臨めるよう前日に寝ることだけ全力を注ぎました。

#### 【令和3年度試験】

試験当日は、前日に眠れたこともあり落ち着いて自分で説明のできる回答が書けたことで、やり切れた気持ちがありました。しかし、事例IVは2・3問を間違えていたことが終了5分前に気づいたため合格したという手ごたえは得られず、自信はありませんでした。

そのため、合格発表のHPで自分の番号を見た時には信じられない思いでした。

事例IVも最後まで粘り空欄がないよう部分点をかき集められたことが良かったと思います。

#### 【最後に】

MMCは2次試験に必要なことが体系的に整理されていて誰でも再現できるようキーワードが最小限になっています。そのためまず、空欄なく書けるようになる段階までは非常に有効だと思います。そして、型を使いこなすには前提となる1次知識などキーワードの理解度が不足していないかなどがMMCの受験生の中でも差になっているように感じました。

知識に不安がある方は、MMCで使う限られたキーワードの意味をしっかりと説明できるよう取り組むことが役に立つと思います。

徳川先生、中居先生、勝山先生、伊藤先生、中矢先生には大変お世話になりました。毎週日曜日の講義はいつも楽しく受講できました。講義では砕けた話や、なるほどと理解が深まることが多く苦手なことにも取り組みました。また、講義内での励ましの言葉や個別アドバイスでの言葉の全てが諦めず学習を続けていく助けになりました。本当にありがとうございました。

MMCを検討している方や現在MMCで学習されているみなさまにとって参考になれば幸いです。